

# 川越市教育委員会第3回定例会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
- 2 開 会 平成28年6月27日 午後2時
- 3 閉 会 平成28年6月27日 午後2時20分
- 4 教育長並びに出席した委員 新保正俊、梶川牧子、長谷川 均、原田由美、長井良憲
- 5 欠席委員 なし
- 6 教育長の職務を行った者 教育長新保正俊
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長根岸督好、学校教育部長佐野 勝、教育総務部副部長兼地域教育支援課長長谷部洋志、教育総務部参事兼文化財保護課長下 薫、学校教育部副部長兼学校管理課長福島正美、学校教育部参事兼教育指導課長中野浩義、学校教育部参事兼市立川越高等学校事務長橋本邦明、学校教育部参事兼教育センター所長小熊利明、教育総務課長長谷正昭、教育財務課長桜井一男、中央公民館長安藤初代、中央図書館長澤田勝弘、博物館長田中 信、学校給食課長岸野泰之
- 8 前回会議録の承認  
平成28年度第2回定例会会議録を承認した。
- 9 議題及び議事の概要  
日程第1議案第17号 川越市立学校給食センター運営委員会委員を委嘱することについて  
(非公開)
- 10 報告事項  
(1) 川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会委員の選任について  
教育総務課長

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされている。また、同条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用が義務付けられていることから、「川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会」を設置し、委員の選任を行ったものである。今年度の委員については、成松恭平氏、町田綾氏、水谷薫氏の3名であり、成松氏については一昨年、昨年に引き続き、水谷氏においては昨年に引き続きお願いしようとするものである。

なお、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する今後のス

ケジュールは、点検評価懇話会を7月中旬にかけて2回程度開催し、点検・評価の内容に関して頂いた各委員からの意見を付した素案を7月の教育委員会定例会で協議する予定である。更に8月の教育委員会定例会での議案審議を経て、平成28年川越市議会第5回定例会（9月議会）に報告書を提出した後、公表する予定である。

委員

以前より文化財や文化芸術に関する意見が少ないように感じるため、委員の選任人数についても3名にこだわらず、文化財関係の専門家にも入ってもらい幅広く議論した方が良いとお願いしている。今年度の委員の選任にあたり、その点は考慮したのか伺いたい。

教育総務課長

今年度の予算要求では、文化財等の分野の委員を1名追加した委員4名で予算要求したが、3名の予算しか確保できなかった。そのため、今年度の委員については、水谷薫氏が博物館協議会委員にもなっており、文化財分野等においても幅広い見識を持っていることから専門的な意見を頂けると考えており、昨年と同様に3名の委員を選任したものである。

委員

川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会要綱では、選任できる委員が3人以内となっており、人数を4人に変更しないと新たな委員を追加できないと思うが、その点について確認したい。

教育総務課長

予算が確保できた場合には、要綱で規定している委員の人数を4人以内に変更することで考えている。

(2) 川越市立特別支援学校の平成29年度生徒募集について

参事兼教育センター所長

平成29年度川越市立特別支援学校生徒募集については、募集人員を高等部16名、入学選考期日を平成29年1月12日とし、近隣の県立特別支援学校等の選考日を考慮した日になっており、受験者数の確保を図ろうとするものである。なお、募集内容について、昨年度からの変更点は特にない。

委員

昨年度の受験者人数及び中学校からの推薦入学制度を実施しているのか伺いたい。また、川越市立特別支援学校における中途退学者や不登校の状況についても伺いたい。

参事兼教育センター所長

平成27年度の受験者は23名で16名が入学しているが、推薦入学は行っていない。次に特別支援学校における中途退学者及び不登校生徒はいない。

委員

募集人員を16名としている根拠がわかれば伺いたい。

参事兼教育センター所長

教室数や教員人数から考慮すると1学年16名、3学年48名が定員として最大の人数である。

委員

施設が増築されれば、定員を増やすことも可能であるか伺いたい。

参事兼教育センター所長

施設が整備されても教員人件費など財政上の課題もあるため、すぐに定員を増やすことは難しいと考えている。

教育長

特別支援学級の1クラスの人数は8名となっているのか伺いたい。

参事兼教育センター所長

特別支援学級の1クラスの人数は8名となっており、特別支援学校も1クラス8名、1学年2クラス16名となっている。

委員

今年度入学した16名の生徒の市内及び市外の内訳について伺いたい。

参事兼教育センター所長

市内に在住している生徒が6名、市外に在住している生徒が10名である。

委員

これまでも市外に在住している生徒が多かったのか伺いたい。

参事兼教育センター所長

平成26年度までは市内在住の生徒割合が多かったが、平成27年度は、特別支援学校に進学の対象となる市内在住の中学3年生の生徒人数が少なかったため、市外在住の生徒人数が増加したと考えられる。なお、平成28年度における市内の中学3年生は、43名であり、例年より多い人数である。

委員

どういった基準をもとに選考しているのか伺いたい。

参事兼教育センター所長

選考試験では作業適正検査、運動適正検査、コミュニケーション適正検査、集団行動適正検査、更衣観察を実施し、市立特別支援学校の教育目標にあった生徒を選考している。

## 1.1 その他

- (1) 議事に先立ち教育長から、議案第17号は人事に関する情報であることから、これらの審議に係る会議を公開しないこととする動議が提出され、全出席委員がこの動議に賛成し、当該審議については非公開として取扱うことに決定した。
- (2) 会議録署名委員として、梶川教育長職務代理者、原田委員が指名された。

(3) 次回教育委員会は平成28年7月19日(火)午後2時開催に決定した。